

* 胸部低線量 CT について

体内の断面像を得ることができるコンピュータ断層装置 (CT) を使って検診を行います。検査時間は約 5～10 分程度です。胸部 CT は、胸部レントゲンと比較して、より肺がん検出率が高いと報告されていますが、胸部単純 X 線と比較して放射線被ばくが増えるという難点があります。又、肺がん以外の疾患が発見されることもあります。

当院では、被ばくの問題を解決すべく、肺がん CT 検診認定機構の推奨する低線量 CT を採用しています。

低線量 CT による肺がん検診は、通常の胸部 CT の 2 割程度の低い線量で検査をします。

低線量とはいえ、最先端の CT 装置と被ばく低減技術を用い、がんの診断が可能な画質が担保されるよう、医師と診療放射線技師とで検討を行い、線量を決定し、診断は放射線科、呼吸器内科医師 2 名以上による二重読影を実施しています。